


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [火山砂防事業 (国補)]		事業箇所	甲府市和田町(ワダマチ)	地区名	西沢川(ニシザワガワ)	事業主体	山 梨 県																																						
(1) 事業の概要					(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景					①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当																																									
西沢川は山梨県甲府市和田町に位置し、流域内には侵食崩壊による不安定土砂が河床に厚く堆積している。溪岸侵食もみられ巨礫も多数分布しており台風及び豪雨等の出水により、さらなる溪岸部の侵食崩壊及び河床の不安定土砂による二次移動が予想される。下流には病院、人家、橋梁及び県道その他道路があり土砂流出による被害拡大の危険性が懸念される。現在、流域内には既設砂防堰堤2基、治山堰堤2基が設置されているものの整備率は70%未満に留まっており土石流が発生した場合、甚大な被害を及ぼす恐れがある。このため、既設砂防堰堤施設を改築し、土砂災害を未然に防止する必要がある。					②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 砂防法第6条に該当しないため、砂防管理者の県が行うことが妥当																																									
					③経済妥当性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/>																																									
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 整備前 整備後 ・土砂整備率 60% → 100% ・流木整備率 43% → 100% ・重要公共施設の有無 有 (病院1棟) (保全対象=人家45戸、県道235m、その他道路413m、橋梁1橋) □副次目標 - □副次効果 -					<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>400 百万円</td> <td>工期</td> <td>H31~H39</td> <td>基準年</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>338 百万円</td> <td colspan="3">便益</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>338 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td>199 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td>76 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td>56 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td>793 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">3.3</td> </tr> </table>				総事業費	400 百万円	工期	H31~H39	基準年	H30	経済効率性	費用	338 百万円	便益			建設費	338 百万円	一般資産被害抑止	199 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	76 百万円			百万円	公共土木施設等被害	56 百万円			百万円	その他※	793 百万円		B/C		3.3			
					総事業費	400 百万円	工期	H31~H39	基準年	H30																																				
経済効率性	費用	338 百万円	便益																																											
	建設費	338 百万円	一般資産被害抑止	199 百万円																																										
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	76 百万円																																										
		百万円	公共土木施設等被害	56 百万円																																										
		百万円	その他※	793 百万円																																										
B/C		3.3																																												
(2) 整備内容 ①整備内容 部分透過型砂防堰堤(流木捕捉工) 1基 H=6.5m L=68m 砂防堰堤高上げ 1基 H=9.0m→11.0m L=56m ②着手年度 平成31年度 ③完成見込年度 平成39年度 ④総事業費 約400百万円(国費220百万円(5.5/10)県費180百万円(4.5/10))					※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている ④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																									
⑤年度別の整備内容 (事業費) 平成31年度 詳細設計・用地測量 30百万円 平成32年度 用地取得・立木補償 20百万円 平成33年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成34年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成35年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成36年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成37年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成38年度 砂防堰堤工事 50百万円 平成39年度 砂防堰堤工事 50百万円					⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした ⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮 ⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="radio"/> 地元の要望に基づいている																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 既整備内容 不透過型砂防堰堤 2基 期間 昭和51年、平成14年~平成17年 事業費 150百万円(平成分)					総合評価 [貢献度ランク:a]																																									
(4) 事業位置図等					位置図 																																									

2. 添付資料シート

